

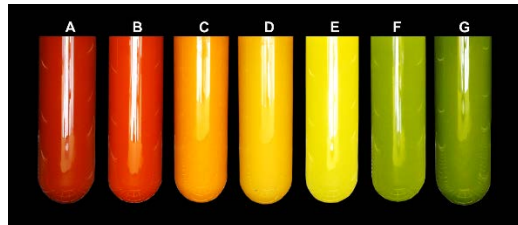
## 株式会社アルガルバイオへの出資について

日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 浦田 興優、以下「日本材料技研」）は、このたび、藻類バイオベンチャーの株式会社アルガルバイオ（本社：千葉県柏市、代表取締役社長 竹下 毅、以下「アルガルバイオ」）に出資いたしました。

株式会社アルガルバイオは、2018年3月に設立されたベンチャーであり、社長を務める竹下氏が東京大学名誉教授の河野重行氏らと開発した、クロレラなどの藻類を用いて希少脂肪酸やカロテノイドを生産する技術の実用化に取り組んでいます。

$\beta$ -カロテン、ルテイン、アスタキサンチンなどのカロテノイドは、アンチエイジング等に関する機能が注目され市場規模も拡大していますが、限られた微生物や植物により生産されており価格も供給量も限定されています。竹下氏らは、クロレラを含むトレボウキシア藻綱が、増殖が速く、培養が容易であることから大量培養に適していることに着目し、クロレラなどの藻類を用いて希少脂肪酸やカロテノイドを生産する技術を開発しました。これにより、機能が認められる希少脂肪酸やカロテノイドが安定的に供給され、人々の健康に寄与することが期待されます。また、蓄積する脂肪酸・カロテノイドがクロレラの株ごとに異なり、鮮やかな色を呈するため、天然色素としての利用も期待されます。

<アルガルバイオが実用化をめざす七色クロレラ>



日本材料技研では、これまでに、分裂酵母を用いた有機酸製造技術（開発元：旭硝子株式会社）およびサトウキビからの砂糖・エタノール増産を可能にする逆転生産プロセス技術（開発元：アサヒグループホールディングス株式会社）の2件について技術導入し、発酵法を活用したバイオケミカル事業の創出に取り組んでいます。今回の出資を通じてアルガルバイオとの連携・協業を深め、日本材料技研が有する業界ネットワークや事業化ノウハウを活用してアルガルバイオの企業価値向上に寄与するとともに、微細藻類を活用したバイオケミカル事業の創出についても検討してまいります。

日本材料技研は、機能化学品やバイオケミカル等の素材分野に特化したファブレス型ベンチャーとして、国内企業や大学・研究機関等で開発された革新的技術について、ライセンスアウトやカーブアウトを通じた事業化に取り組んでいます。今後、素材分野に関連するベンチャーとも、シードマネーの提供も含めた連携・協業を進め、日本の素材産業におけるイノベーション創出に貢献してまいります。